

カープの
独り言

「あの試合をもう一度」

No.890

その試合は、年に一度しかない「ピースナイター」として行われたDeNAとの一戦（8月14日）だった。先発の床田寛樹が5回8安打3失点。今季初めてクオリティスタート（6回以上を投げて自责点3以下）を達成できなかった。9回表を終わって1-3でDeNAがリード。それでもまだ当時は中継ぎ陣が盤石。床田を継いだ黒原拓未が6回からインニングをまたぎ、7回途中からマウンドに立った森浦大輔が8回も続投。そして9回は塹江敦哉が2死一、三塁のピンチをゼロで抑えた。

9回裏。DeNA抑えの切り札・森原康平がマウンドに。先頭の小園海斗が二塁打、続く坂倉将吾が四球。無死一、二塁で中村奨成が打席に向かう。そのとき小窪哲也打撃コーチが彼を呼び止め、耳打ちした。「バントはないよ」。驚いた中村が左翼へホームラン性の打球を放つ。しかしフェンス際で捕球されアウト。

これを見ていた次打者・菊池涼介はこう思った。「奨成がバントでないなら、どんどんいけということ」。菊池は追い込まれてから粘る。

そして決死の思いで上から叩くようにして放った打球が、左翼方向に飛んだ。私は打った瞬間、入ったと思った。菊池が自身9年ぶり2本目となるサヨナラ弾（記録は逆転3ラン）を左翼中段席へ打ち込んだのだ。場内は総立ち。一時、テレビ中継アナの発する言葉が聞こえなくなるくらいだった。

これが今季一番のゲームだったように思う。新井貴浩監督は「劇的な勝ちを超満員のファンにお見せできて最高の日でした」。やっぱり、カープファンは辞められない。

迫 勝則（さこかつのり）

1946年生まれ。マツダ退社後に広島国際学院大学部長などを務め、執筆・講演活動を続ける。近著は「森下に惚れる」「逆境の美学」。

広島ドラゴンフライズの2013年発足からパートナー（支援企業）を務めており、社員みんなでこのたびの優勝を喜びました。2連覇を期待する人が多いでしょうが、余計なプレッシャーを与えては本末転倒。個人的には肩肘張らずに良い試合をしてもらいたいですね。当社は物流が本業。今後も試用機材を運ぶ、ドラフララッピング、トラックで全国を駆け巡り、多くの人の目にとまる広告塔を意識したい。

スポーツは大切なことを教えてください。スポーツは大切なことを教えてください。実は12年の日本陸上競技選手権大会800m走で優勝した久保瑠里子は私のめいっ子。そのひたむきに努力からほぼ毎年、少年ドッジボールの「KUBOXTドリムカップ」を開いています。今年は12月に廿日市のサンチェリーで実施し、28チームが参加予定。子どもの生き生きとした様子には大人も元気づけられます。

広島出身で北米プロアイスホッケーのNHL選手を目指す、小学6年の堀江虎太郎くんを応援するプロジェクトにも協賛。当社副社長で弟の真也は日本アイスホッケー連盟の理事などを務め、彼を指導したことも。今は練習場が整った北海道で暮らしていますが、「広島から世界へ」と話しているそう。夢の実現を祈っています。

スポーツ応援談



KUBOXT(クボックス)
社長 久保 満 (65歳)

こうした経緯もあり07年からほぼ毎年、少年ドッジボールの「KUBOXTドリムカップ」を開いています。今年は12月に廿日市のサンチェリーで実施し、28チームが参加予定。子どもの生き生きとした様子には大人も元気づけられます。

地域とともに
皆さまとともに

一番気やすい
シンヨー
広島市信用組合
https://www.hiroshimashi.shinkumi.jp/

プロ野球解説者
大野 豊

雲海酒造株式会社

KUBOXT
木挽
BLUE

お酒は20歳になってから。

First call company forever!!

～10年先もさらにその先も頼れる会社をめざして～

- 人材派遣
- 紹介予定派遣
- 業務請負 WSC
- 経営・労務コンサルティング
- 施設・交通警備
- ビルメンテナンス

ひろしま生まれ、ひろしまからお仕事発信!

株式会社 ワークスタッフ中国

広島市中区東白島町2-0番8号川端ビル4F
☎:0120-209-813 http://workstaff-chu.jp/